

池袋キャンパス

臨床心理学専攻 (専門職学位課程) 臨床心理学研究科

Graduate School of Clinical Psychology | Professional Degree Program in Clinical Psychology



臨床現場で求められるものに対応できる 高度な専門性を備えた 臨床心理士・公認心理師を養成します

帝京平成大学大学院臨床心理学研究科は、2011年4月に東日本で最初の臨床心理専門職大学院として開設されました。

近年、様々な領域で心の問題が発生し、専門性の高い心理的支援への期待が高まっています。こうした中で、臨床心理士・公認心理師には、心の問題に的確に対応できる、より高度な専門性が求められています。当研究科では、このような社会のニーズに対応し、臨床心理の理論教育をきちんと行ったうえで、提携機関での豊富な外部実習、附属臨床心理センターでの臨床事例担当、きめ細かい指導による事例研究などを通じて、様々な現場の問題に的確に対応できる即戦力の実践家の養成を目指しています。

当研究科修了者には、「臨床心理修士(専門職)」の学位が授与されます。また、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の臨床心理士受験資格が与えられ、受験科目のうち小論文が免除されます。さらに、本大学院の「健康科学研究科臨床心理学専攻(博士課程)」への進学が可能です。

2018年度から公認心理師試験受験資格にも対応した授業を行っています。大学院入学前に公認心理師法に定められた所定の科目を履修し要件を満たした方は、本大学院を修了すると公認心理師の受験資格が与えられます。

研究科	専攻	在学期間	修得単位及び条件	学位
臨床心理学研究科	臨床心理学専攻	2年以上4年以下	●50単位以上	臨床心理修士 (専門職)

Message

入り口は資格取得、その先は臨床心理専門家の人生へ —希望ある人生の基礎づくりを支援します—

心の問題を抱える人たちのお役に立ちたい、その出発点は資格取得です。私たちは、これまで蓄積したノウハウを活かして資格取得への充実した支援を提供し、高い臨床心理士資格試験合格率(2015年修了生92.9%、2016年修了生92.3%、2017年修了生88.9%、2018年修了生100%、いずれもその年度の修了生の合格率)の実績があります。また、2018年から開始された公認心理師の国家試験でも修了生全員(100%)が合格しました。

即戦力としての臨床心理士・公認心理師の養成は、本学の建学の精神である「実学」の趣旨に沿うものです。この目的を達するため、本研究科では、附属の臨床心理センターや学外の機関での実習で豊富な実践経験の機会を提供し、マンツーマンの指導を行います。

心理臨床の初心者が次第にセラピストとして成長していく姿を見るのは、私たちのやりがいでもあります。私たちは臨床心理の実践家の志と意欲を持つ方々を院生として迎え、心の問題を抱える人々への適切な支援と一緒に考えることを楽しみにしています。



臨床心理学研究科長
安西 信雄 Anzai Nobuo

特色

理論だけでなく、 多彩で豊富な実習により 実践的能力を鍛えます

学内実習は、充実したスタッフと設備を備えた臨床心理センターで行います。学生は教員等による丁寧な指導を受けながら、十分な数の面接や心理検査を担当します。

外部実習は、医療・福祉、地域保健・産業、学校・教育の3領域のうち、1年次に専攻領域以外の2領域で各々2ヵ月、2年次に専攻領域で8ヵ月、それぞれ週1日参加し、様々な現場を経験し指導を受けます。

少人数による きめ細かな指導を行います

1学年15名(定員)の学生に対し、多彩な領域の専任教員12名とカウンセラー4名を配置し、少人数での授業やきめ細かな指導・支援を行います。

また、臨床心理士資格取得のために、独自の模擬試験、少人数指導、ITを活用した学習などの手厚い支援を行います。なお、2018年度から公認心理師試験受験資格にも対応した授業を実施しています。

入学者受入れの方針 (アドミッションポリシー)

臨床心理学研究科 臨床心理学専攻(専門職学位課程)

臨床心理学研究科 臨床心理学専攻(専門職学位課程)の「実学の精神を基として、豊かな人間性を持ち、多様で複雑な心の問題に創造的で柔軟に対応できる臨床心理分野の高度専門職業人を養成する」という教育理念と目的を達成するため、以下の入学者を求める。

- 1 人と心に対する深い関心と理解力を有している。
- 2 柔軟で安定した対人関係能力を有している。
- 3 社会人としての良識と対人援助を行う専門家としての高い倫理観を有している。
- 4 臨床心理学の実践家としての高度専門職業人(臨床心理士)を目指す強い意欲を有している。

■ 専攻領域及び指導内容

※学生は以下の3つの領域から専攻領域を選び、外部実習を経験し、専攻領域の教員からの指導を受けます。

専攻領域	指導内容	教員一覧
医療・福祉	医療・福祉の現場において、精神疾患への対応はもちろん、がんなどの身体疾患を抱える人々に対して、的確に心理アセスメントを行い効果的に介入することができる即戦力の専門家を養成します。さらに、多様な職種と連携し多職種チームの一員として協働できる幅広い視野と柔軟な思考力を身に付けることを目指します。	教授 安西 信雄 教授 池淵 恵美 准教授 浅井 真理子 講師 高瀬 幸子
地域保健・産業	地域や職場において、人々の精神的健康の向上を図り、精神的健康問題を効果的に解決することのできる専門家を養成します。そのために、精神的健康に関わる問題やニーズを把握し、個人の的確なアセスメントやケアだけでなく、様々な専門家等と連携しながら、地域や職場の資源・制度の活用、環境調整、組織の機能の改善などを行う実践能力を身に付けることを目指します。	教授 馬場 洋介 准教授 井上 直美 准教授 管 心 講師 大久保 智紗
学校・教育	学校や家庭、その他の現場において、子どもの発達や適応に関わる諸問題を適切にアセスメントし、解決できる即戦力の実践家を養成します。そのために、子ども個人のみならず、子どもを取り巻く環境に目を向け、アプローチしていきます。そして、災害や事件、事故といった不測の事態に的確に対応し、あるいは、障がいや困難さを持つ子どもたちが能力を發揮し、豊かに成長できる環境を構築する上で不可欠な、幅広い知識と柔軟な技能を身に付けることを目指します。	准教授 森 陽二郎 准教授 谷田 征子 講師 井合 真海子 講師 須藤 武司

■ 臨床心理学研究科 臨床心理学専攻 (専門職学位課程) 授業科目名一覧

※授業科目等は変更になる場合があります。

科目区分	授業科目
臨床心理学基本科目	共通基本科目 ◆ 臨床心理学原論Ⅰ ◆ 臨床心理学原論Ⅱ
	臨床心理査定系 ◆ 臨床心理査定演習Ⅰ (心理的アセスメントに関する理論と実践) ◆ 臨床心理査定演習Ⅱ ◆ 臨床心理査定実習Ⅰ ◆ 臨床心理査定実習Ⅱ
	臨床心理面接系 ◆ 臨床心理面接演習Ⅰ (心理支援に関する理論と実践Ⅰ) ◆ 臨床心理面接演習Ⅱ (心理支援に関する理論と実践Ⅱ) ◆ 臨床心理面接実習Ⅰ ◆ 臨床心理面接実習Ⅱ (心理実践実習) ◆ 臨床心理面接実習Ⅲ (心理実践実習)
臨床心理展開科目	臨床心理地域援助系 ◆ 臨床心理地域援助演習Ⅰ ◆ 臨床心理地域援助演習Ⅱ ◆ 学校・教育臨床心理地域援助実習Ⅰ (心理実践実習) ◆ 学校・教育臨床心理地域援助実習Ⅱ (心理実践実習) ◆ 医療・福祉臨床心理地域援助実習Ⅰ (心理実践実習) ◆ 医療・福祉臨床心理地域援助実習Ⅱ (心理実践実習) ◆ 地域保健・産業臨床心理地域援助実習Ⅰ (心理実践実習) ◆ 地域保健・産業臨床心理地域援助実習Ⅱ (心理実践実習)
	事例研究系 ◆ 臨床心理学研究法 ◆ 事例研究実習Ⅰ ◆ 事例研究実習Ⅱ ◆ 総合的事例研究演習Ⅰ ◆ 総合的事例研究演習Ⅱ

科目区分	授業科目
臨床心理学基礎系	◆ 医療・健康心理学 (心の健康教育に関する理論と実践) ◆ 力動的な心理療法特論 ◆ 認知行動療法特論 ◆ 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践Ⅰ
	学校・教育系 ◆ 学校カウンセリング特論 (教育分野に関する理論と支援の展開) ◆ 児童心理療法特論 (教育分野に関する理論と支援の展開) ◆ 思春期・青年期特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)
臨床心理学応用・隣接科目	医療・福祉系 ◆ 精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開) ◆ 神経心理学特論Ⅰ (保健医療分野に関する理論と支援の展開) ◆ 神経心理学特論Ⅱ (保健医療分野に関する理論と支援の展開) ◆ ソーシャルワーク特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開) ◆ 発達心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)
	産業・保健系 ◆ 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 ◆ 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 ◆ 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践Ⅱ
総合	◆ 臨床心理学特別演習

■ 教員紹介

安西 信雄 Anzai Nobuo 研究科長/教授

【最終学歴】 東京大学 医学部 医学科
【学 位】 医学博士
【専門領域】 【専門領域 [医療・福祉]】 精神医学・臨床心理学・精神科リハビリテーション、精神障がい者の退院と地域生活支援、精神科デイケア、SST・認知行動療法、多職種チーム医療
【専門相談】 精神保健相談、他機関で受けている精神科治療に関する相談
 精神障害を持つ人の地域生活支援コンサルテーション
【メッセージ】 来談者の思いを受け止めつつ確かなアセスメントに基づく心理的支援が行える生物-心理-社会的視点を持つ実践家を養成します。

池淵 恵美 Ikebuchi Emi 教授

【最終学歴】 東京大学 医学部 医学科
【学 位】 医学博士
【資 格】 医師、精神科専門医・指導医、精神保健指定医
【専門領域】 【専門領域 [医療・福祉]】 統合失調症、精神障害リハビリテーション、認知行動療法
【専門相談】 統合失調症の人のリカバリーを目標とする外来
【主な業績】 ●池淵恵美「こころの回復を支援する精神障害リハビリテーション」医学書院、2019
【メッセージ】 これまでの40年間、精神科医として統合失調症の人が、自分の人生への自信と満足感を取り戻して仕事や恋愛や一人暮らしなどにチャレンジすることを支援してきました。研究においても、心の病によっておこる「生きづらさ」の本態の解明と、介入方法の開発に取り組んできました。心理学の領域でも、「生きづらさ」を理解していくことは、クライアントの心に近づいていくうえでとても重要なことだと思います。これから心理士を目指す人たちに、リアルワールドで抱える困難さやそれを乗り越えていくための支援について学んでほしいと思っています。

馬場 洋介 Baba Hirotsuke 教授

【最終学歴】 神奈川大学大学院 人間科学研究科 人間科学専攻 博士後期課程修了
【学 位】 博士(人間科学)
【資 格】 臨床心理士、キャリアコンサルタント、中小企業診断士
【専門領域】 【専門領域 [地域・保険・産業]】 産業メンタルヘルス(職場復帰支援等)、就労支援(中高年、精神障害等)、キャリア発達
【専門相談】 産業メンタルヘルス(職場不適応、職場復帰支援、職場環境改善等)、就労支援(中高年、精神障害等)、中高年のキャリア発達
【主な業績】 ●キャリア心理学ライフデザイン・ワークブック(共著)ナカニシヤ出版 2018 ●心理職の組織への関わり方-産業心理臨床モデルの構築に向けて-(共著)誠信書房 2016 ●こころの科学 増刊号「公認心理師への期待」(共著)日本評論社 2016
【メッセージ】 現在、産業界においては、グローバル化、働き方改革の浸透、および、AI・ロボット等の科学技術の急速な発展等に伴う就業環境の劇的な変化により、働く人のストレスは増大しています。このような産業領域における心理臨床的な課題を、働く個人に寄り添いながら、関係する多職種と連携して解決できる人材が求められています。大学院における実践的な学び、経験等により、社会から求められる心理臨床の専門家を目指していきましょう。

谷田 征子 Yatsuda Masako 准教授

【最終学歴】 お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科 人間発達科学専攻 発達臨床論講座 博士後期課程修了
【学 位】 博士(人文科学)
【資 格】 臨床心理士、公認心理師
【専門領域】 【専門領域 [学校・教育]】 発達臨床心理学、精神分析的な心理療法、家族療法
【専門相談】 子どものカウンセリング、精神分析的な心理療法、家族相談(子育て、ひきこもり)
【主な業績】 ●谷田征子・青木紀久代. (2009). 母親からみた夫婦間の相互性と子育てに対する感情との関連-地域ネットワークに着目して. 心理臨床学研究, 27(2), 152-162.
 ●谷田征子・青木紀久代・岩藤裕美. (2019). ひきこもり支援の実践. 精神科, 34(2), 172-177.
【メッセージ】 生涯発達を軸として、発達の視点からこころを捉え、心理臨床的援助を行う発達臨床心理学を専門領域としています。これまで、乳幼児とその親ならびに夫婦の関係性や、生きづらさを抱えるひきこもり者の支援や実践研究を行ってきました。心理療法では、精神力動的アプローチに基づいて面接を行っています。また、コミュニティにおける子育て支援にも関わっています。人との関わり合いを通じて学ぶことを、大切にしていきたいと思います。

教員紹介

森 陽二郎 Mori Yojiro	准教授
<p>最終学歴 九州大学大学院 教育学研究科 修士課程修了</p> <p>学位 教育学修士</p> <p>資格 臨床心理士、公認心理師</p> <p>専門領域【専門領域[学校・教育]】発達心理学、発達臨床心理学、特別支援教育、発達障がい児に対する多面的支援システムの研究</p> <p>専門相談 発達障がい児への療育及び保護者支援、学校や保育園へのコンサルテーション</p> <p>主な業績 ●自閉症児への集団遊戯療法における共感的関わりが持つ治療的意義の再検討 九州神経精神医学 40 (3-4),360-366 共著 1994.12</p> <p>●プレイ・セラピー グループ・プレイ・セラピー(分担執筆) 金剛出版 191-210. 共著 1995.05</p> <p>メッセージ 発達に遅れや凸凹を持つ子どもたちと保護者を対象にした臨床を行ってきました。発達臨床のフィールドで実践を続けるためには、臨床心理学の知識はもちろんのこと、幅広い素養や柔軟な発想、行動力が必要です。大学院の2年間でその基盤を作り、修了後も生涯にわたって研鑽を積んでいくこととなります。その道を共に歩んでくれる皆さんとの出会いを楽しみにしています。</p>	

浅井 真理子 Asai Mariko	准教授
<p>最終学歴 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 心理学専攻 博士後期課程修了</p> <p>学位 博士(心理学)</p> <p>資格 臨床心理士、薬剤師、公認心理師</p> <p>専門領域【専門領域[医療・福祉]】サイコオンコロジー(精神腫瘍学)、喪失と悲嘆、医療コミュニケーション</p> <p>専門相談 がん患者と介護者の支持的カウンセリング、遺族のサポートグループ</p> <p>主な業績 ●Asai M, et al: Psychological states and coping strategies after bereavement among spouses of cancer patients: a quantitative study in Japan.Support Care Cancer 20:3189-3203,2012</p> <p>●Asai M, et al: Psychological states and coping strategies after bereavement among spouses of cancer patients: a quantitative study. Psychooncology19:38-45,2010</p> <p>メッセージ 自分や家族ががんに罹る、大切な人を喪う、といったストレスフルな出来事に直面している人にどのような心理支援が必要なのかを研究しています。</p>	

井上 直美 Inoue Naomi	准教授
<p>最終学歴 お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科人間発達科学専攻 発達臨床心理学領域博士後期課程修了</p> <p>学位 博士(学術)</p> <p>資格 臨床心理士、公認心理師</p> <p>専門領域【専門領域[地域保健・産業]】臨床心理学、心理的アセスメント、トラウマ焦点化心理療法、メンタルヘルス早期支援</p> <p>専門相談 不安に関連した心の問題、自己理解</p> <p>主な業績 ●『トラウマセラピー・ケースブック:症例にまなぶトラウマケア技法。』星和書店,2016年。(共著)</p> <p>●Open-label study of cognitive behavioural therapy for individuals with at-risk mental state: feasibility in the Japanese clinical setting. Early Intervention in Psychiatry, 2018:1-5. (共著)</p> <p>メッセージ 心理検査の中でも、Performance-Based Testに分類されるWechsler式知能検査やロールシャッハ・テストを専門に研究しています。一人の方のパーソナリティを多角的にアセスメントし、支援の糸口をみつけていく、その奥深さを学生の皆さんにお伝えできればと思っています。</p>	

管 心 Suga Motomu	准教授
<p>最終学歴 東京大学 医学系研究科 脳神経医学専攻 精神医学分野 博士課程単位取得退学</p> <p>学位 博士(医学)</p> <p>資格 精神保健指定医、精神科専門医・同指導医、日本医師会認定産業医、難病指定医</p> <p>専門領域【専門領域[地域保健・産業]】統合失調症脳基盤研究、若年精神疾患当事者の社会復帰支援、産業メンタルヘルス</p> <p>専門相談 臨床精神医学全般、医療資源・社会福祉資源・心理的ケアの統合的活用、家族相談</p> <p>主な業績 ●Suga M et al. Reduced gray matter volume of Brodmann's Area 45 is associated with severe psychotic symptoms in patients with schizophrenia. Eur Arch Psychiatry Clin Neurosci. 260(6)465-473, 2010</p> <p>●管心ら、統合失調症患者を対象に脳磁計を用いた時間性変化と周波数変化MMNの測定と臨床応用の可能性について、精神神経学雑誌、2017、119(12): 889-894</p> <p>●石橋綾、管心、統合失調症を持つ当事者への就労支援、医学の歩み、261(10):1043-1049,2017</p> <p>メッセージ 精神科医の視点から医療資源・社会福祉資源・心理的ケアを統合して社会参加を支援する活動をしています。</p>	

須藤 武司 Sudo Takeshi	講師
<p>最終学歴 東海大学大学院 文学研究科 コミュニケーション学専攻 博士課程後期単位取得退学</p> <p>学位 博士(文学)</p> <p>資格 公認心理師、臨床心理士</p> <p>専門領域【専門領域[学校・教育]】学校臨床心理学、パーソンセンタードアプローチ</p> <p>専門相談 学校、生き方・実存の問題</p> <p>主な業績 ●『こころの医学入門』中央法規出版 208-216. 共著 2017.09.</p> <p>●Qualitative Study on the Psychological Experiences of Trans-man and Trans-woman. THE TOKAI JOURNAL of EXPERIMENTAL and CLINICAL MEDICINE. 43(2). 45-49.</p> <p>メッセージ 専門職大学院では、臨床心理学研究や資格取得のための様々なカリキュラムを用意しています。学びと実習を通して、人間と社会そして自分自身と向き合う貴重な体験を重ねてください。</p>	

高瀬 幸子 Takase Sachiko	講師
<p>最終学歴 上智大学大学院 総合人間科学研究科 社会福祉学専攻 博士後期課程修了</p> <p>学位 博士(社会福祉学)</p> <p>資格 社会福祉士、公認心理師</p> <p>専門領域【専門領域[医療・福祉]】社会福祉学、社会老年学、ソーシャルワーク、高齢者福祉、地域包括支援センターにおける社会福祉士による高齢者支援・ネットワーク構築、ソーシャルワーカーによる退院支援</p> <p>専門相談 高齢者と家族への支援、ソーシャルワークの視点からのコンサルテーション</p> <p>主な業績 ●高瀬幸子(2013)在宅高齢者へのソーシャルワーク実践－混合研究法による地域包括支援センターの実践の分析－明石書店</p> <p>メッセージ 社会福祉、特に高齢者と医療の分野のソーシャルワークが専門領域です。心理士として、社会福祉の視点を持つことは、臨床の場できっと役に立つことと思います。多様な視点を持った専門職になるためのお手伝いが出来ればと思います。</p>	

井合 真海子 Igo Mamiko	講師
<p>最終学歴 早稲田大学大学院 人間科学研究科 臨床心理学専攻 博士後期課程修了</p> <p>学位 博士(人間科学)</p> <p>資格 臨床心理士、公認心理師</p> <p>専門領域【専門領域[学校・教育]】行動療法・認知行動療法、学校カウンセリング、パーソナリティ障害</p> <p>専門相談 認知行動療法</p> <p>主な業績 ●井合真海子・矢澤美香子・根建金男(2010).見捨てられスキーマが境界性パーソナリティ症候群の徴候に及ぼす影響 パーソナリティ研究,19,81-93.</p> <p>●井合真海子・根建金男(2013).見捨てられ場面における見捨てられスキーマと思考・感情・行動との関連 行動医学研究,19(2),83-92.</p> <p>メッセージ 臨床心理学の中でも、特に認知行動療法を専門としています。認知行動療法は実証的な効果研究が最も活発になされている心理療法の一つです。研究テーマとしては、境界性パーソナリティ障害などの感情調節が困難な方に対する有効な支援方法を検討しています。</p>	

大久保 智紗 Okubo Chisa	講師
<p>最終学歴 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 ヒューマン・ケア科学専攻 修士課程修了</p> <p>学位 博士(心理学)</p> <p>資格 臨床心理士、公認心理師</p> <p>専門領域【専門領域[地域保健・産業]】臨床心理学、心理査定、感情心理学、感情体験のメカニズム、感情コントロールのための心理的介入に関する研究</p> <p>専門相談 感情や気分に関する問題</p> <p>主な業績 ●Unconscious and conscious processing of negative emotions examined through affective priming. /Psychological Reports 112/ 共著 / 2014</p> <p>●感情調整が困難な学生に対する感情予測と問題解決のためのシステムズトレーニングの実施可能性と有効性 / 認知療法研究, 12 / 共著 / 2019</p> <p>メッセージ その人のパーソナリティや、強みや苦手なことなどを理解するために役立つ心理検査について実施や解釈、報告書の作成についての学修をはじめ、心理的援助に活きる心理査定について学びを深めていきましょう。</p>	